



For **I**mation **RDX**

# バックアップ／リストア作業手順書

| 変更履歴       |      |          |    |         |
|------------|------|----------|----|---------|
| 日付         | 作成者  | Revision | 対象 | 変更内容    |
| 2013/07/10 | 青山雄一 | 1.0      | 全体 | 初版作成    |
| 2013/12/27 | 青山雄一 | 1.1      | 全体 | V2R4 対応 |
|            |      |          |    |         |
|            |      |          |    |         |
|            |      |          |    |         |
|            |      |          |    |         |

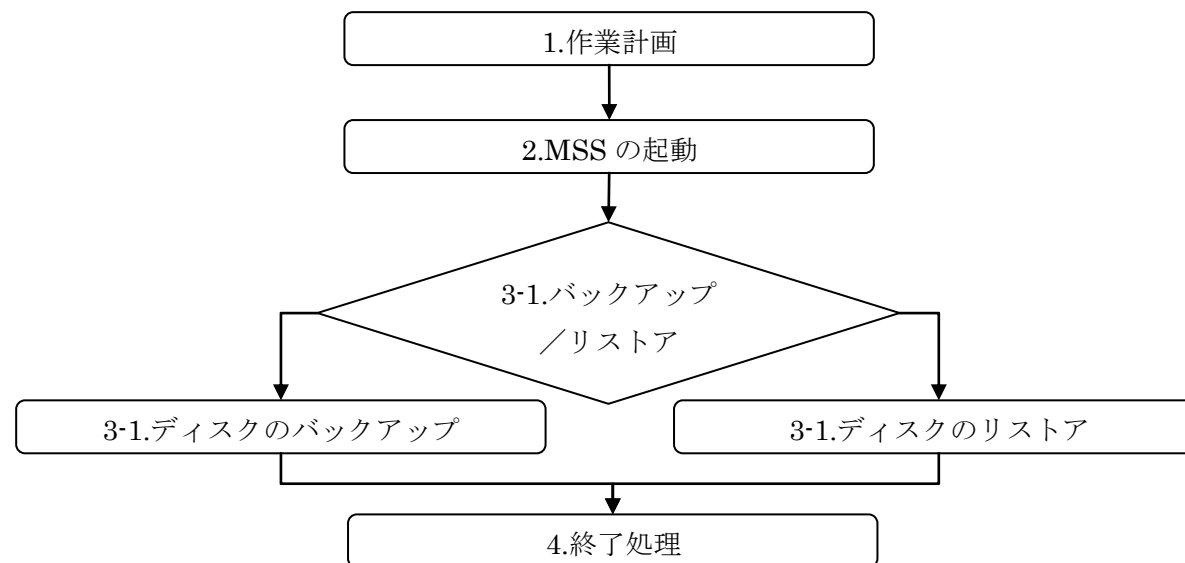
## 目次

|                        |    |
|------------------------|----|
| 1. 作業計画 .....          | 4  |
| 2. MSS の起動 .....       | 6  |
| 3. バックアップ／リストア .....   | 8  |
| 3-1. ディスクのバックアップ ..... | 8  |
| 3-2. ディスクのリストア .....   | 13 |
| 4. 終了処理 .....          | 15 |

本手順書は MIRACLE System Savior for Imation RDX(以下 MSS)を利用して、システムのバックアップ／リストアを行う際の手順書です。

## 1. 作業計画

MSS を使ってバックアップ／リストアする前に、作業計画を立てます。  
本手順書は右図のような流れで利用します。図の通り、バックアップと  
リストアのどちらを実行するかで手順が分岐します。実際に作業を行う  
内容によって、必要な部分を利用してください。



まず、事前に必要となる情報を整理します。

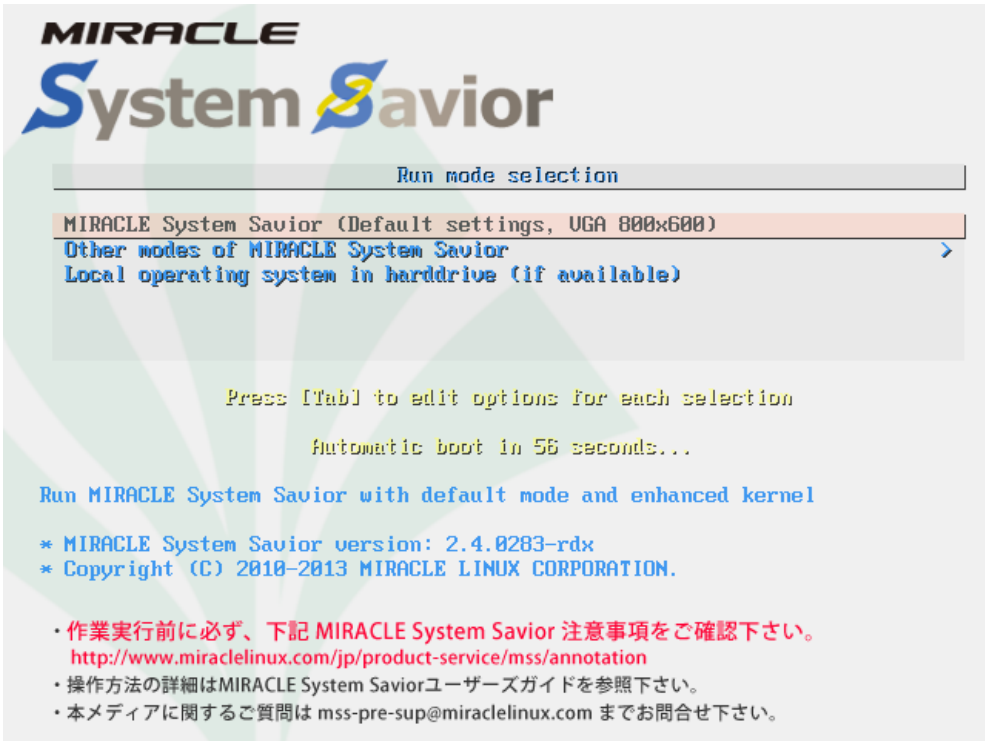
以下の表を埋めることで MSS を利用したバックアップ／リカバリに必要な情報をまとめることができます。

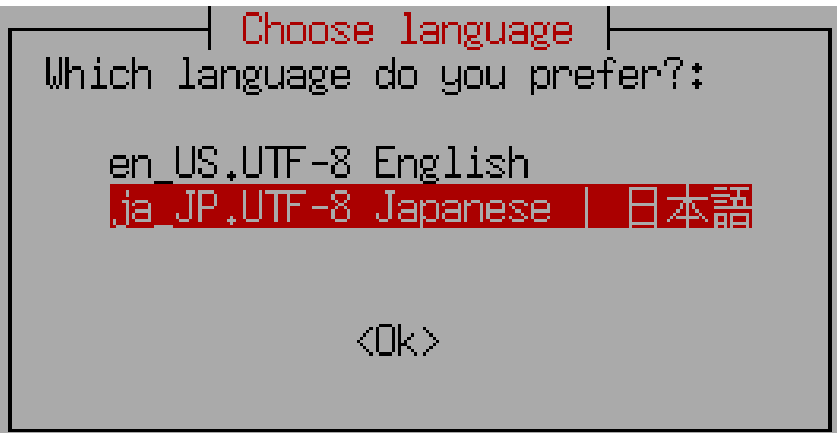
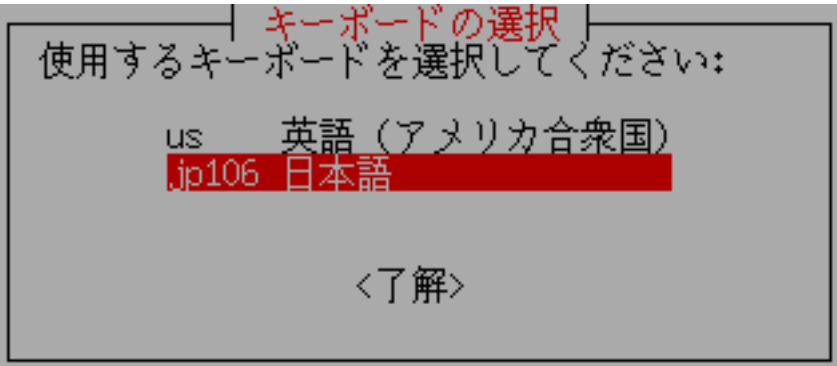
| バックアップ方法              |  |
|-----------------------|--|
| バックアップイメージ名           |  |
| バックアップ／リカバリ<br>対象ディスク |  |
| 備考                    |  |

## 2. MSS の起動

MSS の起動処理手順を示します。

事前にサーバの USB ブートが有効になっていることを確認してください。また、本手順はサーバの電源が停止状態から行ってください。

| MSS の起動 |   |  |                          |    |
|---------|---|--|--------------------------|----|
| 項番      | 作業内容  | スクリーンショット  | 確認                       | 備考 |
| 2-1     | USB 外付ドッキングステーションをマシンに接続し、MSS を挿入後、マシンの電源を入れます。             | —  | <input type="checkbox"/> |    |
| 2-2     | 正しく RDX からブートされると次の画面が表示されます。<br>[Enter] を押し、MSS を起動してください。 |  <p> <b>MIRACLE</b><br/> <b>System Savior</b> </p> <p>Run mode selection</p> <p> MIRACLE System Savior (Default settings, UGA 800x600)<br/> Other modes of MIRACLE System Savior<br/> Local operating system in harddrive (if available) </p> <p>Press [Tab] to edit options for each selection</p> <p>Automatic boot in 56 seconds...</p> <p>Run MIRACLE System Savior with default mode and enhanced kernel</p> <p> * MIRACLE System Savior version: 2.4.0283-rdx<br/> * Copyright (C) 2010-2013 MIRACLE LINUX CORPORATION. </p> <p> ・作業実行前に必ず、下記 MIRACLE System Savior 注意事項をご確認下さい。<br/> <a href="http://www.miraclelinux.com/jp/product-service/mss/annotation">http://www.miraclelinux.com/jp/product-service/mss/annotation</a><br/> ・操作方法の詳細はMIRACLE System Saviorユーザースガイドを参照下さい。<br/> ・本メディアに関するご質問は mss-pre-sup@miraclelinux.com までお問合せ下さい。 </p> | <input type="checkbox"/> |    |

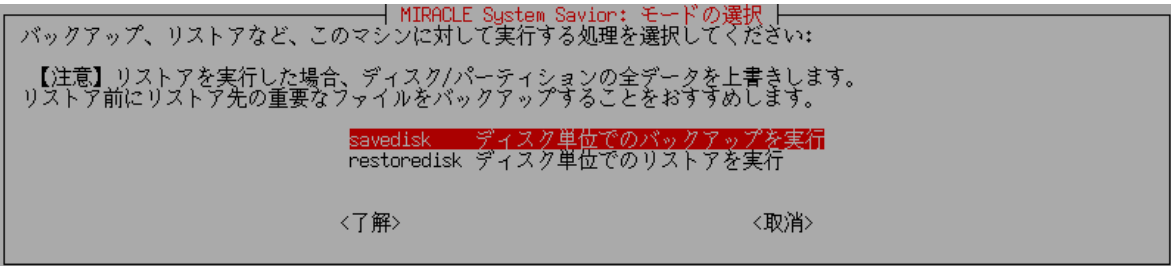
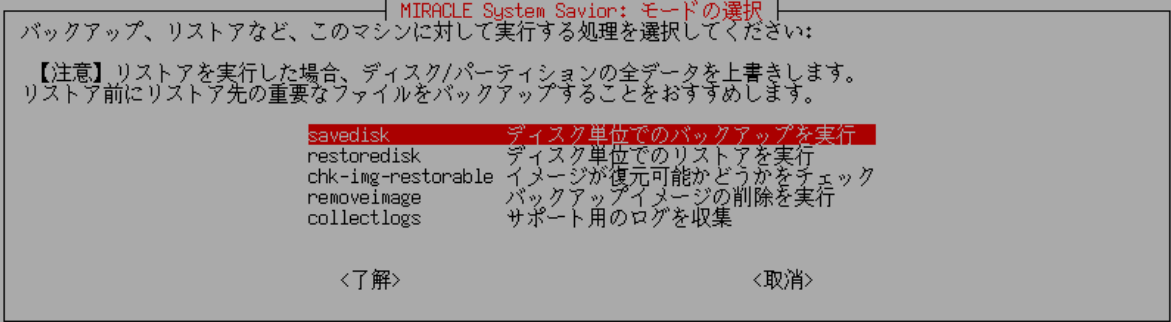
|     |   |   |                          |  |
|-----|---|---|--------------------------|--|
| 2-3 | <p>MSS が起動すると言語選択の画面が表示されます。</p> <p>[↑   ↓]キーで [ja_JP.UTF-8 Japanese   日本語]を選択後、[Tab] キーで [&lt;OK&gt;] を選択し、[Enter] キーを押してください。</p> |   | <input type="checkbox"/> |  |
| 2-4 | <p>次にキーボードを選択します。</p> <p>[↑   ↓]キーで [jp106 日本語] を選択後、[Tab] キーで [&lt;了解&gt;] を選択し、[Enter] キーを押してください。</p>                            |  | <input type="checkbox"/> |  |

### 3. バックアップ／リストア

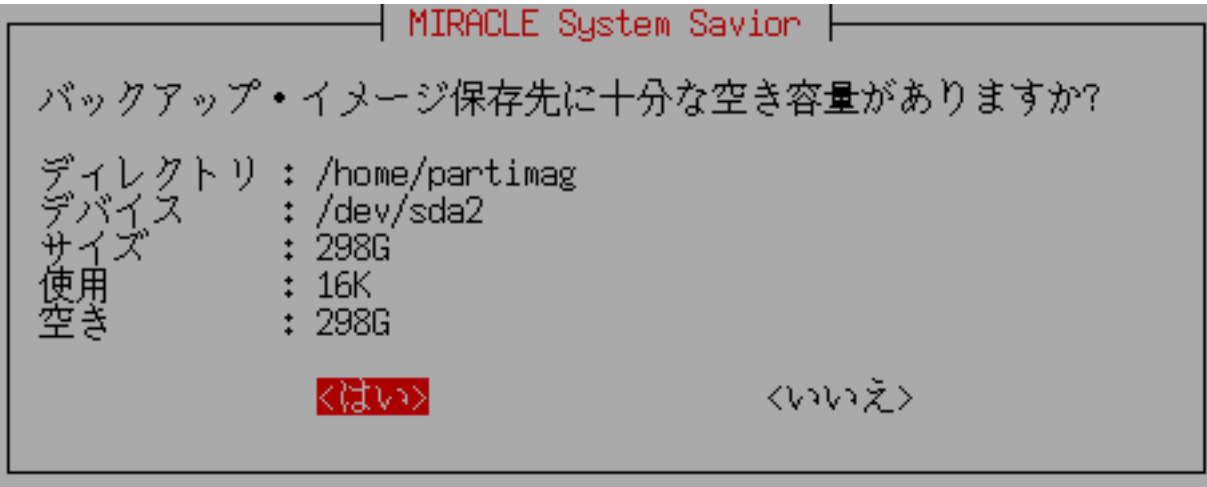
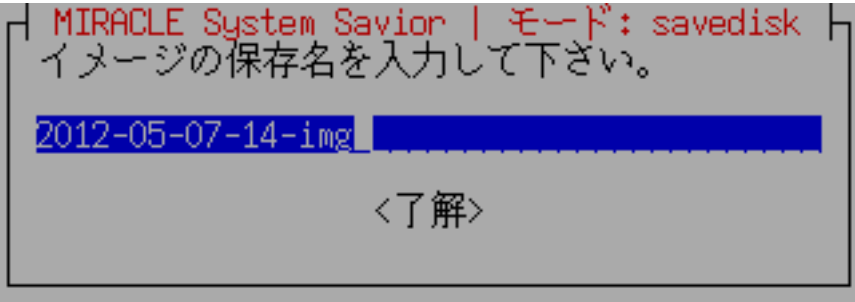
ここでは、バックアップ／リストアの手順について示します。

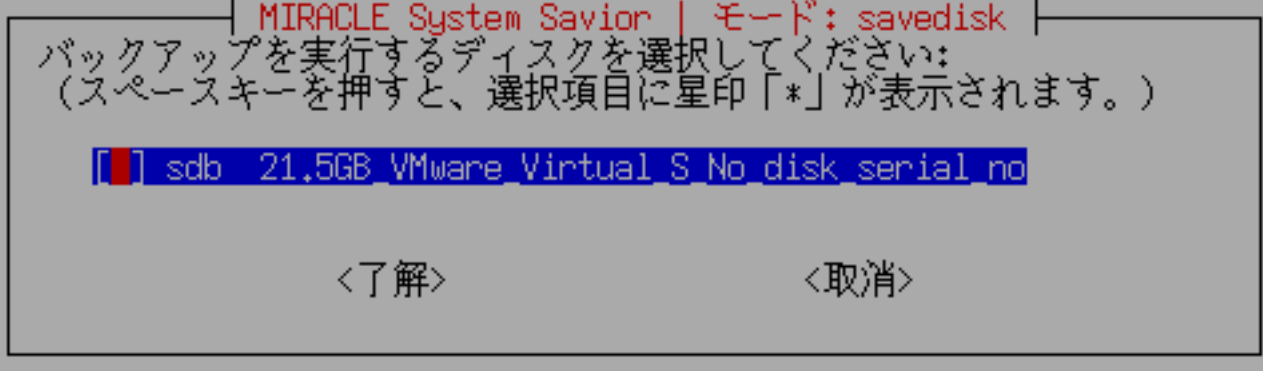
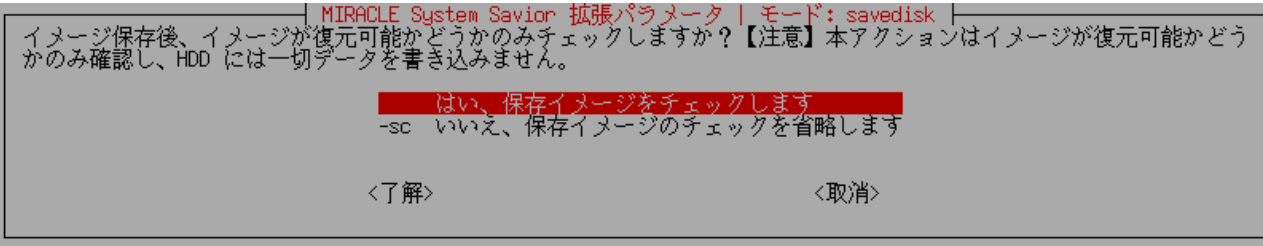

#### 3-1. ディスクのバックアップ

本手順はディスク全体のバックアップを行う際に利用します。

| ディスクのバックアップ |   |   |    |    |
|-------------|---|---|----|----|
| 項番          | 作業内容  | スクリーンショット   | 確認 | 備考 |
| 3-1-1       | <p>起動が完了すると、モードの選択画面が表示されます。</p> <p>ディスク全体のバックアップを行う場合は[↑   ↓]キーで[savedisk ディスク単位でのバックアップを実行]を選択後、[Tab] キーで [&lt;了解&gt;] を選択し、[Enter] キーを押してください。</p> | <br> | □  |    |



|       |   |   |                          |  |
|-------|---|---|--------------------------|--|
| 3-1-2 | <p>RDX 内のバックアップデータ保存領域の容量確認画面が表示されます。</p> <p>十分な容量が利用できることを確認し、[Tab] キーで [&lt;はい&gt;] を選択し、[Enter] キーを押してください。</p>                    |   | <input type="checkbox"/> |  |
| 3-1-3 | <p>イメージの保存名を入力します。</p> <p>指定しない場合は“&lt;年-月-日-時&gt;.img”のフォーマットで保存されます。</p> <p>入力後、[Tab] キーで [&lt;了解&gt;] を選択し、[Enter] キーを押してください。</p> |  | <input type="checkbox"/> |  |

|       |   |  |   |  |
|-------|---|--|---|--|
| 3-1-4 | <p>バックアップを実行するディスクを選択します。</p> <p>[↑   ↓]キーでバックアップ対象のディスクを選択しスペースキーを押して選択してください。項目が選択されると星印(*)が表示されます。</p> <p>バックアップするディスク全てを選択した後、[Tab] キーで [&lt;了解&gt;] を選択し、[Enter] キーを押してください。</p> |    | □ |  |
| 3-1-5 | <p>バックアップ完了後に自動で取得したイメージの確認を行うか選択できます。</p> <p>特に理由がない場合、[はい、保存イメージをチェックします]を選択後、 [&lt;了解&gt;]を選択し、[Enter]を押してください。</p>  |    | □ |  |
| 3-1-6 | <p>確認メッセージが表示されます。</p> <p>選択したディスクが正しいことを確認し、[Enter]を押します。</p>  |  | □ |  |

|       |  |  |                          |  |
|-------|--|--|--------------------------|--|
| 3-1-7 | <p>最終確認メッセージが表示されます。</p> <p>続ける場合は[y]を、中止する場合は[n]を入力し、[Enter]を押します。</p> <p>バックアップには時間がかかる場合があります。バックアップ中にキー入力はしないよう注意してください。</p> | <pre> ***** 次のステップでは、このマシンのハードディスク／パーティションをイメージとして保存します: ***** Machine: VMware Virtual Platform sda (21.5GB_VMWare_Virtual_S_No_disk_serial_no) sda1 (210MB_ext3(In_VMWare_Virtual_S)_No_disk_serial_no) sda3 (19.1GB_ext4(In_VMWare_Virtual_S)_No_disk_serial_no) ***** -&gt; "/home/partimag/2013-12-26-15-img" 本当に続けてもよろしいですか？ (y/n) </pre> | <input type="checkbox"/> |  |
|-------|--|--|--------------------------|--|

3-1-8

4-1-5 のバックアップ後の自動イメージチェックで、[はい、保存イメージをチェックします]を選択した場合、バックアップが完了すると自動でイメージの確認を行います。

確認後、レポートが表示されます。

ここで取得したイメージに問題がないことを確認後、[Tab]キーでカーソルを[<了解>]に移動し[Enter]を押してください。

なお、4-1-5 で [-sc|いいえ、保存イメージのチェックを省略します]を選択した場合、本手順は不要です。

```

Check Summary: 2013-12-26-15-img

本イメージ中の全てのパーティション／論理ボリュームデバイスイメージがチェック済みで、復元可能です: 2013-12-26-15-img

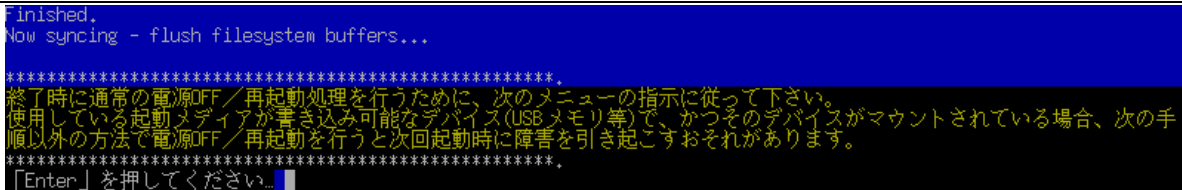
=== Image Type ===
savedisk
[OK] disk
[OK] parts

=== Partition Table Information ===
/dev/sda: mbr
[OK] sda-pt.parted
[OK] sda-pt.sf
[OK] sda-mbr
[OK] sda-hidden-data-after-mbr

=== Partition Image ===
[OK] /dev/sda1: sda1.ext3-ptcl-img.gz.*
[OK] /dev/sda2: swappt-sda2.info
[OK] /dev/sda3: sda3.ext4-ptcl-img.gz.*

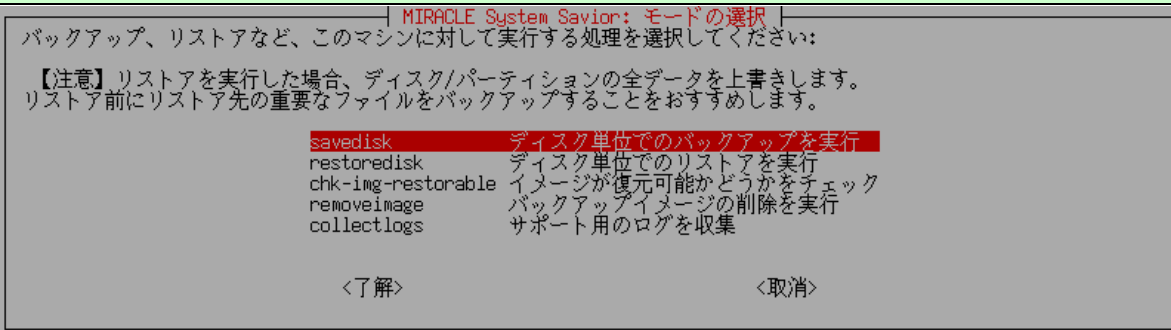
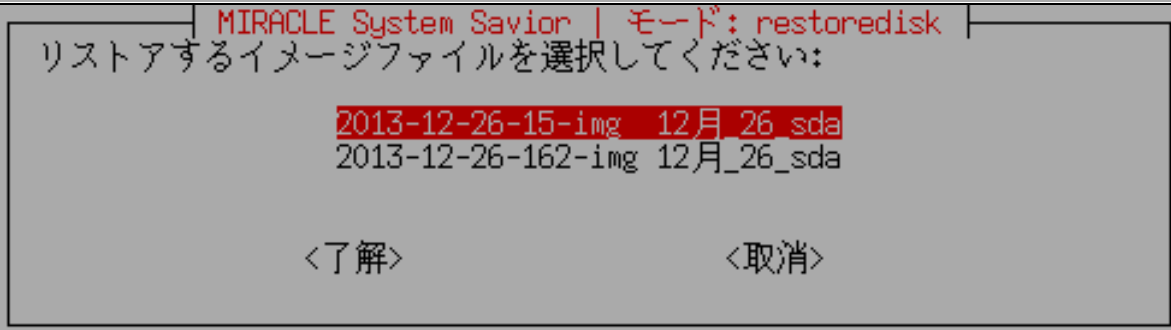
<了解>

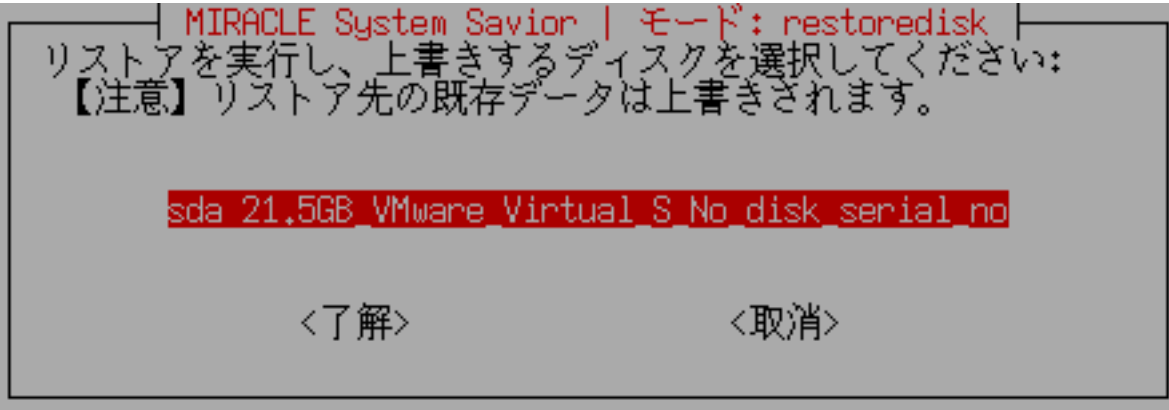
```

|       |  |   |  |                          |  |
|-------|--|---|--|--------------------------|--|
| 3-1-9 | バックアップが終了すると次の画面が表示されます。<br>[Enter]を押してください。 |  <p>Finished.<br/>Now syncing - flush filesystem buffers...</p> <p>*****<br/>終了時に通常の電源OFF/再起動処理を行うために、次のメニューの指示に従って下さい。<br/>使用している起動メディアが書き込み可能なデバイス(USBメモリ等)で、かつそのデバイスがマウントされている場合、次の手順以外の方法で電源OFF/再起動を行うと次回起動時に障害を引き起こすおそれがあります。<br/>*****<br/>[Enter]を押してください。</p> |  | <input type="checkbox"/> |  |
|-------|--|---|--|--------------------------|--|

### 3-2. ディスクのリストア


本手順はディスク全体のリストアを行う際に利用します。

| ディスクのリストア |   |  |                          |    |
|-----------|---|--|--------------------------|----|
| 項番        | 作業内容  | スクリーンショット  | 確認                       | 備考 |
| 3-2-1     | 起動が完了すると、モードの選択画面が表示されます。<br>ディスク全体のリストアを行う場合は[↑   ↓]キーで[restoredisk ディスク単位でのリストアを実行]を選択後、[Tab] キーで [＜了解＞] を選択し、[Enter] キーを押してください。 |    | <input type="checkbox"/> |    |
| 3-2-2     | バックアップデータの一覧が表示されます。[↑   ↓]キーでリストアするバックアップデータを選択後、[Tab] キーで [＜了解＞] を選択し、[Enter] キーを押してください。   |  | <input type="checkbox"/> |    |

|       |   |  |                          |  |
|-------|---|--|--------------------------|--|
| 3-2-3 | <p>リストアを実行するディスクを選択します。</p> <p>[↑   ↓]キーでバックアップ対象のディスクを選択しスペースキーを押して選択してください。項目が選択されると星印(*)が表示されます。</p> <p>バックアップするディスク全てを選択した後、[Tab] キーで [＜了解＞] を選択し、[Enter] キーを押してください。</p> |    | <input type="checkbox"/> |  |
| 3-2-4 | <p>最終確認メッセージが表示されます。</p> <p>続ける場合は[y]を、中止する場合は[n]を入力し、[Enter]を押します。</p> <p>リストアには時間がかかる場合があります。リストア中にキー入力はいらないよう注意してください。</p>   | <pre> クライアントのハードディスクのパーティションを作成しません。 [Enter]を押してください。 Activating the partition info in /proc... done! Getting /dev/sda1 info... Getting /dev/sda3 info... ***** 次のステップでは、イメージをこのマシンのハードディスク/パーティションに復元します: "/home/partimag/2013-12-26-15- img" -&gt; "sda sda1 sda3" 【警告】、【このハードディスク/パーティション中の既存のデータは上書きされます。全ての既存データは失われます】: ***** Machine: VMware Virtual Platform sda1 (210MB_ext3(In_VMware_Virtual_S)_No_disk_serial_no) sda3 (19.1GB_ext4(In_VMware_Virtual_S)_No_disk_serial_no) ***** 本当に続けてもよろしいですか？ [y/n] </pre> | <input type="checkbox"/> |  |
| 3-2-5 | <p>リストアが終了すると次の画面が表示されます。</p> <p>[Enter]を押してください。</p>   | <pre> 終了時に通常の電源OFF/再起動処理を行うために、次のメニューの指示に従って下さい。 使用している起動メディアが書き込み可能なデバイス(USBメモリ等)で、かつそのデバイスがマウントされている場合、次の手 順以外の方法で電源OFF/再起動を行うと次回起動時に障害を引き起こすおそれがあります。 ***** [Enter]を押してください。 </pre>   | <input type="checkbox"/> |  |

#### 4. 終了処理

ここでは、バックアップ／リストアの動作が完了した際の終了手順を示します。

| 終了処理 |  |  |                          |    |
|------|--|--|--------------------------|----|
| 項番   | 作業内容   | スクリーンショット  | 確認                       | 備考 |
| 4-1  | 処理が完了すると終了メニューが表示されます。<br>電源を切る場合、[↑   ↓]キーで[電源 OFF]を選択後、[Tab] キーで [<了解>] を選択し、[Enter] キーを押してください。 |  | <input type="checkbox"/> |    |
| 4-2  | 4-1 で[電源 OFF]、[再起動を選択すると、自動で RDX が排出されます。]RDX が排出されたことを確認し、[Enter]を押してください。<br>以上で全ての処理は終了となります。   | —  | <input type="checkbox"/> |    |

以上